

KOINONIA ACADEMY

Newsletter 6

April 2006

第4年目を迎えて

コイノニアの最初の子ども達を迎えてから4年目を迎え、1月には第4グループを受け44名で2006年をスタートしました。皆様のお祈りと支えを心より感謝いたします。最初のグループは現在は小学校2年生になります。

当初私たちは幼稚園のプログラムをスラムに住む子どもたちに提供する事を目的にコイノニアをオープンさせました。しかし、子どもたちが幼稚園

の課程を終えて小学校へ入ろうとする時に父母達が熱心に小学校教育をしてコイノニアでの教育を続けてほしいと嘆願しました。ケニア政府は小学校の無料化を始めましたが、全てが無料になる事はありませんでした。また、コイノニアの教育内容が彼らの知る限り最高のものであることから小学校教育も期待してのです。こうしてオパイオニアのクラスは小学校2年生になりました。



クドゥークラス (小学2年生)



スターリー・ナイト(クドゥー)

これまでコイノニアの先生は全てキューナ幼稚園で教えていた先生方でしたが、初めて2年生の先生を公募しました。デイスター大学卒業のジュリエット・ムチエケ先生が担任となりました。ムチエケ先生はこれまで自らが経験したケニアの教育とは違ったユニークなコイノニアの教育に驚きつつも、他の先生方の助けを得て日々学びつつ子どもたちを教えています。

一人の先生に8人の子供という恵まれた環境の中で子ども達は、楽しく勉強しています。特にケニアの教育は先生の言ったことを憶える、教科書に書いてあることを暗記することを主体とした教育です。しかしコイノニアでは、考えながら学びます。どうしてこうなるのか、なぜ?という疑問を皆に話し、共に考え共に本を開き答えを探します。少人数クラスですが、活発に活動しているクラスです。

ボンゴクラス(小学1年生)

コイノニアの3年目のこのクラスは一番難しいクラスです。スラムで作られた頑固で自分中心の性格を捨てきれないで自分を強く主張し先生とぶつかります。先生の注目を引くために、嘘ばかり付くジョロゲ、自分が一番になりたいばかりに、友達のことを受け入れられず、自分より先に先生に答える事さえ許せないマーティン。集中力が無く、クラスの中で大声でしゃべって友人達をもまきこむカレブ。いつも一番に手を上げて質問に答えようとするが問題をまったく理解せず、ただ皆の注目を浴びたいだけのカレミ。などなどそれぞれが在るがままの自分で言いという事がまだわからず、一生懸命に自分を主張し、それによってクラスをかき回し、先生を怒らせ、悲しませることが毎日起こります。勉強は大好きで活発なクラスですが、それぞれの態度の問題が先生にとって大きな課題です。



新しいテーブルで

おもちゃで遊ぶ園児達



エランドクラス(年長)

コイノニアに入学して2年目の子ども達は、算数の基礎と英語の基礎を習い始めました。皆とても興味があり、一生懸命です。しかし家庭でネグレクトされている子供はまだまだ心を開き新しいことを学ぶまでに成長していません。

インパラクラス(年中)

今年の新入園児たちはまったく物怖じせず、自分のことを自由に表現する子供たちです。とても楽しいクラスですが、しつけがまったくできていません。ただ自分勝手に自己表現する子ども達を前に、先生は第1

学期を手探りで子ども達の心をつかみ、一つのクラスに作り上げる努力をしました。まだクラスとしては未熟ですが子ども達はコイノニアが大好きです。

なぜかクラスが11人でまだ5人分の空きがあります。キバガレスラムで新たに無料の学校が始まったことでそちらへ入学した子ども達が多いと親たちは話しています。しかし、200シリングを払っても、良い教育を受けさせたいと願う熱心な親達の子ども達が集まっている事が感謝です。

特別の感謝 ペポニ・スクール

コイノニアの近くにあるイギリス系の小学校ペポニ・スクールが近年多方面で助けてくださいました。

去年はボンゴクラスのムラグリ先生を研修に受け入れてくださいました。去年のクリスマスには子ども達を全校生徒の集まる集会に招待して交流を持ちました。

今年も小学校の2クラスに机を寄付してくださいました。またペポニの父母会が、コイノニアのために募金活動をしてくださいました。

この募金パーティーの会場を飾るために子ども達も、「スターリーナイト」というテーマで大きな絵を皆で描きました。

ウィトル校長先生、先生方、父母の方々そして生徒の皆さんに心から感謝いたします。



スターリー・ナイト

父母達への働きかけ

3月4日に毎学期定例の保護者会を開きました。44人在籍中3名の保護者が欠席でしたが、毎回のごとく非常に出席率が良く、父母のコイノニアに対する期待と学校との良い協力関係が育ってきた成果と喜んでいきます。父母はまず各クラスを見学しどのような形で日々の教育がされているか、またどのような教材が使われているかを見ました。その後全体集会で、バエ牧師のお話しと、キゴエ主任からのお話しがありました。その後、父母達の生活を支えるために行われているベーカリーと洋裁プロジェクトの報告があり、また新しいメンバーの参加が呼びかけられました。今回もジャミーボラ(小規模経済自立プロジェクト)についての説明がありました。それぞれの家族が経済的に自立していくために、グループで助け合っているプロジェクトです。ケニア国内で広がっているプロジェクトですが、グループ内のお互いの信頼関係が必要です。可能性を提示しつつも、父母自らが動き出すことを期待して待っています。



ペアレンツ・デー

日本での支援窓口 アフリカ宣教会

代表 竿代照夫牧師(インマヌエル中目黒教会牧師)

副代表 市橋隆雄牧師(キューナ教会牧師 在ナイロビ 現地責任者)

e-mail ichihashi@nbi.ispkenya.com HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>

事務局 藤江顕、幸子

郵便振り込み先 アフリカ宣教会 口座記号 - 00190 - 9 口座番号 - 740560